

碧南市指定文化財 新たに 7 件を指定

碧南市教育委員会は平成 22 年 4 月 1 日付けで市内の文化財 7 件（有形文化財 6 件、無形文化財 1 件）を新たに碧南市指定文化財に指定しました。そこで、新しく指定された文化財をご紹介します。この指定で碧南市指定文化財は計 42 件になります。

1 新指定文化財一覧

種 類	名 称	員数	所 在 地	所有者
有形文化財	彫刻 あみだによらいりゆうぞう 阿弥陀如来立像	1 軀	碧南市浜寺町 2 丁目 1 9 番地	西方寺
有形文化財	彫刻 れんによしょうにんざぞう 蓮如上人坐像	1 軀	碧南市浜寺町 2 丁目 1 9 番地	西方寺
有形文化財	彫刻 あみだによらいざぞう 阿弥陀如来坐像	1 軀	碧南市音羽町 1 丁目 4 8 番地	宝珠寺
有形文化財	書跡 しょせき ぼくしよろくじみょうごう 墨書六字名号	1 幅	碧南市油湊町 1 丁目 6 番地	応仁寺
有形文化財	書跡 墨書六字名号	1 幅	碧南市油湊町 1 丁目 6 番地	応仁寺
有形文化財	書跡 しょうしんげもん 正信偈文	2 幅	碧南市油湊町 1 丁目 6 番地	応仁寺
無形文化財	菊人形づくり		碧南市吹上町 2 丁目 1 6 番地	鳥居慶昭

2 指定理由の概要

- (1) 阿弥陀如来立像（西方寺蔵）は、眼や表面仕上げ等に後補部分もあるが、穏やかな顔立ちや当初の表情を、著しく変えるには至っておらず、螺髪の彫り口や腹部・背面の簡略化された浅い衣文に 12 世紀後半の特徴をみることができる。市内に現存する数少ない平安彫刻の作例として貴重である。
- (2) 蓮如上人坐像（西方寺蔵）は、その面貌が蓮如肖像画（室町から江戸初期）と相似ており、その肖像とみてよいものである。ただし、その衣制は肖像画の通規とは異なっており、その点から、年代は 16 世紀後半に降ることも考えられる。本像は、その衣文の入念な表現に仏師の力量をうかがうことができ、木彫蓮如像としては稀な、古例に属するものである点で貴重である。
- (3) 阿弥陀如来坐像（宝珠寺蔵）は、江戸前期の古典学習の気運の中で生まれた、完成された作域を持つ阿弥陀如来像で、鎌倉彫刻を規範としつつ、平易で明快、端正な復古的作風を示している。当代の正統派仏師の彫技をうかがうに足る優品であると

ともに、加藤菊女ゆかりの仏像として、作品受容の歴史という点からも貴重な作例である。

- (4) 墨書六字名号（応仁寺蔵）は、全国的に数多く伝来する蓮如筆墨書名号のうちで、蓮如筆の裏書を添った名号は現存二点知られるのみで、大型のいわゆる道場用のものは本品のみである。裏書記載の願主の釈惠薫は明らかに応仁寺前身道場の坊主で、応仁二年五月二十日の年次とともに史料的价值が高い。筆法は一般に知られる熟達した蓮如筆名号に比べ、やや稚拙であるが、年次的にも蓮如筆名号の最初期のものと推定され、蓮如研究の上からも極めて貴重である。
- (5) 墨書六字名号（応仁寺蔵）は、由緒の上からも蓮如旧跡寺院として全国的にも知られている応仁寺に伝来する意義が大きい。また筆法においても、のびやかな運筆と力強い筆圧は蓮如筆名号の典型ともいえるもので、いわゆる「虎斑」（とらふ）の名号にふさわしい。蓮如はこのような自筆の墨書名号を大量に書き与え、「御文」にその意味を示すという布教手段で多くの門徒を獲得した。すなわち、祈りを越えた信心を発せしめる意味を有するものであったが、本名号はそれを象徴する雰囲気をもっている。
- (6) 正信偈文（応仁寺蔵）は、蓮如旧跡寺院として全国的にも知られている応仁寺に伝来することに意義があり、一部に摩滅による文字の欠損も見られるが、筆法は蓮如の特徴がよく表れている。本願寺蓮如の布教の実態を知る上で貴重である。
- (7) 菊人形づくりは、20世紀に入ってすぐに吉浜ゆかりの方が製作に加わり、その後製作者のほとんどが吉浜ゆかりの方となり現在に至る。よって、地方的特色が顕著な工芸技術として認められる。

鳥居慶昭氏は、終戦前名古屋の黄花園で三河部の親方を務めていた吉浜の野々山吉三郎氏に誘われて昭和28年（1953）から始め、名古屋城、広島県尾道市、山口県宇部市、北海道帯広市、徳島県鳴島など全国各地で携わった。このことから鳥居慶昭氏は、吉浜の野々山吉三郎氏の菊人形づくりの技術を正しく継承し、全国各地の菊人形展でその技術を実地に体得し、かつこれに精通している、現在東海地方でも数少なく碧南で唯一の菊師といえる。

3 新指定文化財一覧（画像） 別紙のとおり

4 参考資料 碧南市指定文化財一覧 別紙のとおり

碧南市教育委員会文化財課作成

新指定文化財一覧

1 有形文化財



(1) 阿弥陀如来立像 1 軀
(西方寺蔵)

高さ 78.0cm 割刳造
平安時代末期



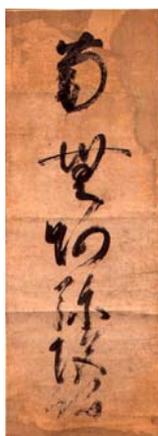
(2) 蓮如上人坐像 1 軀
(西方寺蔵)

高さ 31.0cm 寄木造
室町時代末期



(3) 阿弥陀如来坐像 1 軀
(宝珠寺蔵)

高さ 34.0cm 寄木造
江戸時代前期



(4) 墨書六字名号 一幅
(応仁寺蔵)

紙本墨書 87.7×30.9cm
室町時代 応仁2年(1468)



(5) 墨書六字名号 一幅
(応仁寺蔵)

紙本墨書 98.2×37.1cm
室町時代



(6) 正信偈文 二幅
(応仁寺蔵)

紙本墨書 96.0×36.0cm
室町時代

2 無形文化財

(1) 菊人形づくり



無形文化財保持者

鳥居 慶昭 氏

昭和4年2月25日生 (81歳)

碧南市吹上町2丁目16番地



(参考資料)

碧南市指定文化財件数

種別		現在数	今回指定	計	
有形文化財	建造物	1		1	
	美術工芸品	絵画	2		2
		彫刻	9	3	12
		工芸品	1		1
		書跡・典籍・古文書	1	3	4
		考古資料			
		歴史資料	7		7
無形文化財	芸能				
	工芸技術	1	1	2	
民俗文化財	有形民俗文化財	7		7	
	無形民俗文化財	3		3	
記念物	史跡				
	名勝				
	天然記念物	動物			
		植物	3		3
		地質鉱物			
合計		35	7	42	

その他碧南市内文化財件数

重要文化財（国指定） 3件

県指定文化財 4件

国登録有形文化財 1件